

# 西南学院図書館報

1952.12  
No.2

昭和二十七年十二月発行  
発行所 福岡市西新町  
西南学院図書館  
編集人 坂口 静一

## 図書館の利用

## 坂本重政

私がペイラ大学で、千ヨイサーの講義を聞いていた時、隣席にHという若い学生がいた。彼は英文学専攻で、エリザベス朝の小説家、トマス・デイローニに現われた俚諺の研究という論文を書いていた。それで話がよく合つて、二三度彼の下宿に連れて行つて貰つた事がある。

立派な部屋に住んでいたが、書籍は殆んど持つていなかった。私の経験からいへば旧制の日本の大学生、特に文科の学生は多少なり蔵書を持つていた。卒業論文でも書こうという人は先ず参考文献を集めることが先決問題であつた。

ところがH君は論文を書く爲の参考書を幾冊か机の上に並べているが、いずれも図書館から借り出したものばかりである。

私は特にデイローニの全集の如きは論文を書くのに不可欠なものと思われるので、図書館から借り出して、よく清ませる事ができると思つて、一寸聞いてみると、彼は毎日必要だから、借り出して、そして一週間毎に貸出期限を延長していると答えた。

これはH君の場合であるが、大体アメリカの学生は自分で本を買わず図書館利用で済ましているようだ。

我々が乏しい資力のなかから、あまり読みもしない本を買い集めるのと、一寸本を裏にしている。私も財布をはたいて本

を少し買ったことがあるが、近頃はその本の大部分にはほこりが積つていて、本の私蔵は死蔵なりという言葉に如実に感じている。此点からみて、ペイラ大学の図書館の如き、その蔵書の利用率において随分学ぶべきものがあることを感じた。

第一は教授が図書館の本をよく利用するようにしむけていること。第二、大学図書館として利用度の多い本を備えていること。第三、利用度の多い本は五部も六部も備えていること。第四、本には一週間借り出せるものと、二週間借り出せるものとあるが、リザブドブックの如き一度に二時間しか借れないようにして多くの人々に迎っていること。

第五、期限厳守の爲返却の遅れたものには罰金を課していること。第六、本にはカードが添付してあつて借り出した人の住所氏名が書いてあり、その本が既に何回誰によって利用されたかがわかること。第七、学生は自由に書庫に入り、自由に持出して館内で閲覧できること……等々。第八、大きな閲覧室の周囲の壁には、辞書類がズラリ並んでいて、辞書すら、高価なもの、特種なものには私有する必要があること。またあると思うが、いまは紙数が盡きた。

△筆者は本学学長▽

## 紹介

「生きる不安の分析」 南博著

日々の新聞に「自殺」記事のない日はない。危殆の現代を絶望に生きて行くためには「キリスト教」か「マルキシズム」か「実存哲学」か或いは「死」である。——三十分一人ずつの自殺者。一個の人間の歴史の終末は「死」である。「死」を恐るとき自己の存在は無意味となり、「死」——「自殺」をのぞいて現代の社会を、人間の本质を理解することは至難である。

「自殺」を社会心理学的に解剖した本書は、真剣に生きる人々の一度は読むべきものである。

詩集「荒地」

T.S.エリオット  
西原順三郎訳

現代の道徳的墜落とキリスト教的清純とを連結し「美」と「醜」との究極を烈しく逐う長篇象徴詩で、その高貴な詩精神と端麗な詞華とが混然とむぎあつてゐる。一九二二年に発表されるや全英詩壇をして瞠若たらしめた近來の逸作である。

ジョイスの「ユリヤ」の流氷に似る手法は、小説を読むように明解ではないが、原文、原注及び訳者のコンセンサスを付し理解の便に供してあり、我が國初訳版である。混乱のなかに「うたを忘れたカナリア」は多い。「荒地」の謂である。是非一読をおすすめしたい。

清水

新刊圖書雑誌

積文館書店

福岡市新天町  
電話②〇一九〇  
福岡市東中洲  
電話③一五八四

学生の店 新刊書籍雑誌

金陽堂書店

西新町本通

西南学院教科書取扱

黒門書店

本店 福岡市新大工町六  
電話②一六七三  
支店 福岡市西新町電停前

法経  
専門書

地行書店

福岡市地行西町  
電停前

# 新聞一覽

朝日新聞、毎日新聞、西日本新聞、  
産業経済新聞、キリスト新聞、西南学院大学新聞  
日本読書新聞、図書新聞、  
The New York Times (27年4月27日迄)

# 新着図書リスト

(書名)	(著者)	(分類)
美と必然との間に	田中美和木郎	121 99 5
人間の心理	毎日新聞社	140 1 22
心理学通論	中村 弁	140 1 23
青年心理学	教師養成研究会	143 4 6
クリントン大星	ミカエル・シュタイン 吉田小五郎訳	173 071 7
解説世界史資料集	三上 次男	209 088 1
世界危機に於ける人間科学	ラルフ・リントン 池島重信訳	302 4
商法概説	田中 誠二	325 01 13
株式会社の税務	栗泉 一平	325 24 7
海商法原論	森 清	325 507 1
資本主義成立期の研究	矢口孝次郎	332 904 2
アメリカ帝国主義の史的分析	アン・フロード 小出 俊訳	333 953 3
ケインズ貨幣論 (オックス)	ケインズ 鹿野仁三郎訳	337 1 2-1
封建社会の展開過程	茨田 五郎	362 041 5
二つの遺伝学	徳田 御穂	467 7 12
日本の農林水産資源	連合軍 総司令部	602 91 2
芸術通論	山際 靖	701 01 1
アメリカ野球技術	イーサン・アレン 内村祐之訳	783 7 3
私の英文手紙	池田スハリス 滝口直太郎訳	836 6 1
英字新聞の読み方	英文毎日 編集部	837 5 2
寺岡寅彦随筆集 (5冊)	小宮隆雄編	091 914 1-5
母	大岡昇平	913 6 39
荒地	エリオット 西段嶺三郎訳	931 17
人間の絆	モーム 中野好夫訳	933 081 3-3
お菓子と麦酒	モーム 上田 勲訳	" " 3-5
劇場	モーム 滝口直太郎訳	" " 3-6
蒼い傘	モーム 清水 光訳	" " 3-9
女ごころ、雨	モーム 滝口直太郎訳	" " 3-10
巴里の女	モーム 中村能三訳	" " 3-11
ひとめぐり、おさら方	モーム 木下順二訳	" " 3-13
レニヌニスト	アラゴン 小場頼幸三訳	953 28-1

# 図書通信

貸出期間 十二月二十日より  
一月十日まで  
冊数 一人二冊まで  
雑誌は貸付けません  
貸出期間 十二月二十日より  
一月十日まで  
十二月二十日より  
十二月二十四日まで

読者の声 原稿募集  
読者の声として図書館への  
意見・希望、その他図書及び  
雑誌の寸評等を募ります。  
四百字、×切期日はあり  
ません。

冬休み中は閉館いたします。

# 図書分類表

130 西洋哲学	360 社会問題
131 古代哲学	361 社会学
132 中世哲学	362 社会史、社会組織
133 近世哲学	363 社会思想、社会主義
134 ドイツ、オーストラリア、 スキャンデナヴィア哲学	364 社会政策、労働政策
135 フランス、オランダ哲学	365 生活問題
136 スペイン ポルトガル哲学	366 労働問題
137 イタリア哲学	367 婦人問題、性問題
138 ロシア哲学	368 階級問題、社会的団体
139 その他	369 社会病理、社会事業
140 心理学	670 商業会計、簿記
141 心理各論	671 商業政策、経営
142 実験心理学	672 商業史、事情
143 発達心理学	673 商店、販売
144 集団心理学	674 商品、広告
145 産能心理学	675 配給、市場
146 精神分析	676 取引所、投資
147 迷信、心靈研究	677 倉庫
148 相法、占、運命判断	678 貿易
149 応用心理学	679 会計、簿記
190 キリスト教	910 日本文学
191 教義、キリスト教神学	911 詩歌
192 キリスト、使徒	912 戯曲
193 聖書	913 小説、物語
194 信仰録、説教集	914 隨筆、小品、評論
195 教会、教団	915 日記、紀行
196 儀式、典礼、信心行	916 書簡
197 布教、伝道	917 諷刺、滑稽
198 各教派	918 全集、選集
199 エタヤ教	919 日本漢詩文
320 法律	930 英米文学
321 法律学、法哲学	931 詩
322 法制史、外国法	932 戯曲
323 憲法、行政法	933 小説
324 民法、私法	934 エッセイ
325 商法	935 日記、紀行
326 刑法	936 書簡
327 司法制度、訴訟手続法	937 諷刺、滑稽
328 諸法	938 全集、選集
329 国際法	939 アングロサクソン文学
330 経済	950 フランス文学
331 経済学、思想経済	951
332 経済史、事情	952
333 経済政策、経済体制	953
334 人口、移植民	954
335 経営学	955
336 累進恐慌、累進変動論	956
337 貨幣、通貨	957
338 金融、銀行	958
339 保険	959 フロクアンズ文学

(英米文学におなじ)